

平成22年度 多久市の当初予算

3月議会で平成22年度の当初予算が可決され、一般会計の予算総額は97億1千万円となりました。厳しい財政状況ですが、市民のみなさんが夢と希望を持ち、安心して暮らせるように、健全な運営を
はかりながら大切に使用します。

□歳入

歳入には自主財源（市が自主的に収入することができ）と依存財源（国や県から交付されるお金や借金）があり、今年度予算で占める自主財源の割合は27・9%となっています。

歳入の基本となる市税では、17億9千285万5千円と、前年度に比べ1千844万1千円（1.0%）の減額を見込んでいます。

一方で依存財源で高い割合を占める地方交付税は1億5千万円（4.1%）、国庫支出金は2億1千158万5千円（23・5%）県支出金で7千517万3千円（11・3%）のそれぞれ増額を見込んでいます。

市税の内訳

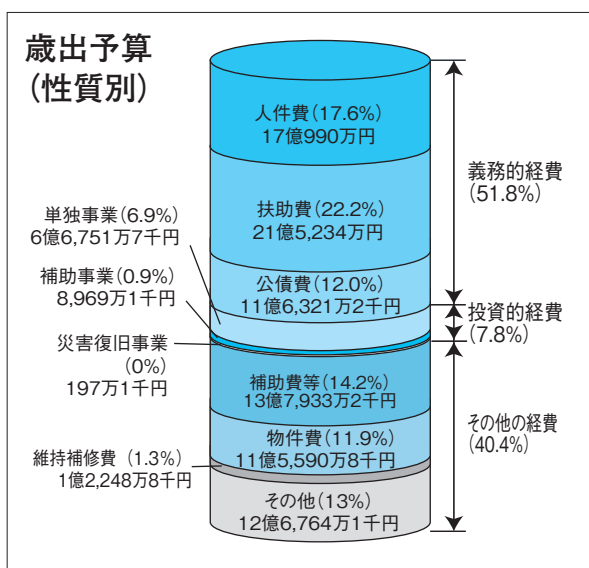
（単位：千円）

税目名	予算額	前年対比
市民税	698,898	-3.0%
個人分	613,517	-2.0%
法人分	85,381	-9.8%
固定資産税	920,234	+0.8%
土地	279,485	-2.8%
家屋	467,009	+3.3%
償却資産	151,692	-1.3%
交付金	5,247	-3.0%
その他	16,801	+19.6%
軽自動車税	56,957	+0.2%
市たばこ税	116,764	-3.6%
入湯税	2	±0%
合計	1,792,855	-1.0%

□歳出

義務的経費（支出が義務づけられ任意に節減できない）のうち、前年度に比べ、人件費が約3千5百万円（2.0%）減額、公債費は約100万円（0.1%）の減額となっていますが、扶助費は子ども手当の支給のため、約3億1千4百万円（17・1%）の増額となり、歳出全体の51・8%（前年度は52・1%）を占めています。

投資的経費（社会資本整備など支出の効果が長期にわたる）では、前年度に比べ、1億2千9百万円（20・5%）の増額となりました。



平成22年度 会計別予算

病院事業会計

区分	予算額	前年対比
収益的	収入 15億1,064万1千円	-1.0%
	支出 15億1,064万1千円	-1.0%
資本的	収入 2,674万6千円	-46.6%
	支出 4,123万1千円	-36.5%

水道事業会計

区分	予算額	前年対比
収益的	収入 5億9,214万6千円	-2.4%
	支出 5億9,214万6千円	-2.4%
資本的	収入 6,469万1千円	-84.0%
	支出 1億9,925万3千円	-61.1%

会計別	予算額	前年対比	
一般会計	97億1,000万円	+6.5%	
特別会計	国民健康保険事業	26億7,112万3千円	-3.0%
	後期高齢者医療事業	2億4,604万7千円	-7.2%
	老人保健事業	212万円	-33.3%
	土地区画整理事業	7億4,884万9千円	-27.3%
	公共下水道事業	3億6,767万5千円	-36.2%
	農業集落排水事業	8,322万6千円	+6.4%

※一般会計＝市が行う行政運営の基本的な会計です。

※特別会計＝特定の事業を行う場合や特定の歳入を特定の歳出に充てる場合など、一般会計と区別して経理する会計のことです。